



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2023
8.28
No.110

CONTENTS

特集

「令和6年度介護報酬改定」
に向けた議論を見る

2025年&2040年を視野に
入れた抜本的改定となる!

2

●今月の「介護ビジョン」

4

●第7回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
入選作品掲載

5

●お知らせ
「介護福祉経営士」
資格認定試験について

6

●第8回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
開催のご案内

7

●イベント紹介
●介護福祉経営士
WEB説明会のご案内

8

特集

「令和6年度介護報酬改定」に向けた議論を見る
2025年&2040年を視野に入れた
抜本的改定となる!



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局

☎ 03-3553-2896

<http://www.nkfk.jp>

〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階

制作：株式会社日本医療企画

2025年&2040年を視野に入れた 抜本的改定となる！

本年7月31日(月)に公表された「全国介護保険担当課長会議資料・老人保健課」から、令和6年度介護報酬改定に向けた議論の状況と今後のスケジュール等に関して概説する。また、令和3年度介護報酬改定における改定事項において、令和5年度末まで経過措置が認められた主な事項について、再点検するための確認を行いたい。

1 令和6年度介護報酬改定について

令和6年度は、診療報酬、介護報酬および障害福祉サービス等報酬の6年に一度の同時に改定されるタイミングであり、医療介護総合確保方針、医療計画、介護保険事業(支援)計画、医療保険制度改革等の医療と介護に関わる制度の一体改革が実施される大きな節目である。

本改定は、医療サービスと介護サービスの提供体制の確保に向けた様々な視点からの検討が必要となるため、診療報酬を議論する中央社会保険医療協議会総会の委員と、介護報酬を議論する社会保障審議会介護給付費分科会の委員が、あらかじめ改定の方向性を共有することを目的に、それぞれが具体的な報酬改定の検討に入る前に、下記のテーマ・課題に関する意見交換を行うこととなった。

①地域包括ケアシステムのさらなる推進のための医療・介護・障害サービスの連携、②リハビリテーション・口腔・栄養、③要介護者等の高齢者に対応した急性期入院医療、④高齢者施設・障害者施設等における医療、⑤認知症、⑥人生の最終段階における医療・介護、⑦訪問看護、⑧薬剤管理、⑨その他——について、それぞれのテーマ・課題に関わる委員による意見交換が本年5月まで行われ、これらの意見を通じて、両委員会での改定に向けた本格的な検討が始まっている。

2 分野横断的な4つのテーマ

介護報酬改定に向けた議論は主に、①介護報酬(各介護保険サービスに係る介護給付費)と、②介護保険サービスの事業運営基準(サービスの取扱いに関する部分)となる。これらの議論を行うにあたり、全体を通して分野を横断する4つのテーマが設定され、これらを念頭に置きながら改定に向けた具体的な議論が行われている。

- 地域包括ケアシステムの深化・推進
- 自立支援・重度化防止を重視した質の高い介護サービスの推進
- 介護人材の確保と介護現場の生産性の向上
- 制度の安定性・持続可能性の確保

これらは、令和3年度介護報酬改定に関する審議報告や、令和4年介護保険部会意見書(介護保険制度の見直しに関する意見)における指摘などを踏まえて設定されたテーマであるが、当然ながら「2025年問題」「2040年問題」を視野に入れたテーマである。つまりは、本改定が3年に1度行われる単位数や運営基準の定期的な改定にとどまらず、将来を見据えた重要な改定の分岐点となることが示されていると言えよう。

3 改定に向けたスケジュールと基礎資料

介護報酬改定に向けた主な論点に関しては、この夏までに行われ、9月からは各論点に対する事業者団体等からのヒアリングが行われる。そのうえで10月から12月にかけて具体的な方向性に関する議論が行われ、12月内には介護報酬、事業運営基準の基本的な考え方の整理・とりまとめが行われ、令和6年の1月に改定案が諮問・答申され、令和6年度介護報酬が決定する。

この間、介護事業経営調査委員会において、改定に向けた基礎資料となる、①介護事業経営概況調査、②介護事業経営実態調査、③介護従事者処遇状況等調査——等进行分析・検討がなされ、具体的な報酬単位等に関する見立てが行われる。

前回改定(令和3年)の前後2年分の収支状況を調査・分析した「令和4年度介護事業経営概況調査」によると、令和3年度介護報酬改定後の令和3年度決算における全

図表1 令和4年度介護事業経営概況調査結果(各介護サービスにおける収支差率)

サービスの種類	令和4年度概況調査			サービスの種類	令和4年度概況調査		
	令和2年度決算	令和3年度決算	対2年度増減		令和2年度決算	令和3年度決算	対2年度増減
施設サービス				福祉用具貸与	1.5%	3.4%	+1.9%
介護老人福祉施設	1.6%	1.3%	△0.3%	居宅介護支援	2.5%	4.0%	+1.5%
介護老人保健施設	2.8%	1.9%	△0.9%	地域密着型サービス			
介護療養型医療施設※	9.7%	0.6%	△9.1%	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8.4%	8.2%	△0.2%
介護医療院	7.0%	5.8%	△1.2%	夜間対応型訪問介護※	△8.6%	3.8%	+12.4%
居宅サービス				地域密着型通所介護	4.0%	3.4%	△0.6%
訪問介護	6.9%	6.1%	△0.8%	認知症対応型通所介護	9.3%	4.4%	△4.9%
訪問入浴介護	6.4%	3.7%	△2.7%	小規模多機能型居宅介護	4.1%	4.7%	+0.6%
訪問看護	9.5%	7.6%	△1.9%	認知症対応型共同生活介護	5.8%	4.9%	△0.9%
訪問リハビリテーション	0.0%	0.6%	+0.6%	地域密着型特定施設入居者生活介護	3.7%	3.0%	△0.7%
通所介護	3.8%	1.0%	△2.8%	地域密着型介護老人福祉施設	1.1%	1.2%	+0.1%
通所リハビリテーション	1.6%	0.5%	△1.1%	看護小規模多機能型居宅介護	5.2%	4.6%	△0.6%
短期入所生活介護	5.4%	3.3%	△2.1%	全サービス平均	3.9%	3.0%	△0.9%
特定施設入居者生活介護	4.6%	4.0%	△0.6%	(内は、コロナ補助金収入を含まない収支差率)	(3.4%)	(2.8%)	(△0.6%)

収支差率 = (介護サービスの収益額(コロナ補助金を含む) - 介護サービスの費用額) / 介護サービスの収益額(コロナ補助金を含む)
 注1: 収支差率に「※」のあるサービスについては、集計施設・事業所数が少なく、集計結果に個々のデータが大きく影響していると考えられるため、参考数値として公表している。
 注2: 全サービス平均の収支差率については、総費用額に対するサービス毎の費用額の構成比に基づいて算出した加重平均値である。

サービス平均の収支差率は、改定前の令和2年度の3.9%と比較して、0.9%低下の3.0%となった。

図表1のとおり、各サービスの収支状況は異なるが、令和2年度の収支差率の増減を見ると、おおむねマイナスの状況にある。令和3年度介護報酬改定が0.7%とわずかながらプラス改定であったなか、収支差率がマイナスとなるのは、新型コロナウイルスの感染拡大が社会全体に与えた大きな影響によるものと考えられる。いずれにしても本収支率が令和6年度介護報酬改定への大きな指標となることに間違いはないだろう。

なお、改定後2年目の収支状況を調査・分析する「令和5年介護事業経営実態調査」の結果は、この10月に公表される予定であり、この調査結果も本改定に大きな影響を与えることになろう。

4 令和5年度末までの経過措置

令和3年度介護報酬改定された事項において、令和5年度末まで経過措置が認められた事項がある。本改定の施行時には猶予期限が切れることになるため、同じく「全国介護保険担当課長会議資料」をもとに、主な事項を確認していく。

【感染症対策の強化】

感染症の発生およびまん延等に関する取り組みの徹底を求める観点から、施設系サービス事業者を対象に「現行の委員会の開催、指針の整備、研修の実施等に加え、訓練(シミュレーション)の実施」が義務づけられた。また、その他のサービス事業者を対

象に「委員会の開催、指針の整備、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等」が義務づけられた。

【業務継続に向けた取り組み(BCP)の強化】

感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての介護サービス事業者を対象に「事業継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等」が義務づけられた。

【無資格者への「認知症介護基礎研修」受講】

認知症に関する正しい理解のもと、本人主体の介護を行い、尊厳の保障を実現していく観点から、全ての介護サービス事業者*を対象に「介護に直接携わる職員のうち、医療・福祉関係の資格を有さない者について、認知症介護基礎研修を受講させる」ことが義務づけられた。

※無資格者がいない訪問系サービス(訪問入浴介護を除く)、福祉用具貸与、居宅介護支援を除く

【高齢者虐待防止の推進】

入所者・利用者の人権の擁護、虐待の防止等のための体制の整備、また従業者に対する研修の実施等の観点から、全ての介護サービス事業者を対象に「委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者の設置等」が義務づけられた。

【口腔衛生の管理の強化】

入所者・利用者の口腔衛生の管理を強化する観点から、施設系サービス事業者を対象に「それまでの口腔衛生管理体制加算を廃止し、基本サービスとして口腔衛生の管理体制の整備、状態に応じた口腔衛生の管理の実施等」が義務づけられた。

【栄養ケア・マネジメントの強化】

入所者・利用者の栄養ケア・マネジメントを強化する観点から、施設系サービス事業者を対象に「そ

れまでの栄養マネジメント加算を廃止し、現行の栄養士に加えて管理栄養士の配置を位置づけるとともに、基本サービスとして状態に応じた栄養管理の計画的な実施等」が義務づけられた。

令和5年度末までの経過措置が設けられた、主な事項を列挙したが、各事業所においては、これらの要件が義務づけられたことの意義を再確認しながら、各事項の進捗度を点検して欲しい。既に要件をクリアしていたとしても、それらの措置が形骸化していないか、実行力ある措置となっているかの点検をすることが重要となろう。

地域介護経営

Care Vision

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

心理的安全性がつくる 人も組織も成長する職場

風通しの良い職場をつくり、チーム力を上げるためのキーワードとして注目される「心理的安全性」。誤った形で導入すれば、単なる仲良しグループ、馴れ合いに陥りやすい、との指摘もある。介護の現場に取り入れるにあたり、その真の意味や本来の目的をしっかりと認識しておきたい。

解説1

今、なぜ「心理的安全性」が注目されるのか

解説2

成長に喜びを感じるメンバーがチームとなり、競い合うことで最高の能力を発揮する集団が生まれる
西川耕平(甲南大学全学共通教育センター教授)

事例1

お互いの良い点を探すことで働きやすい雰囲気づくりに努める
特別養護老人ホーム神明園(東京都羽村市)

事例2

「自厳他寛」を経営理念に掲げ助け合い、チャレンジする組織をめざす
株式会社ローカルトレイン(大分県大分市)

事例3

「報連相」をしやすい環境を整備安心して仕事ができる環境につなげる
社会福祉法人隆生福祉会(大阪府大阪市)

第2特集

知識不足でトラブルに!? 正しく学ぶ「成年後見制度」

2023年9月号
(2023年
8月20日発売)



<http://www.jmp.co.jp/carevision/>

- 毎月20日発行
- 定価: 1,320円(税込)
- 定期購読料: 15,840円(税込)
- ※ 会員価格は12,672円(税込)

【購入に関するお問い合わせ】
株式会社日本医療企画 Tel: 03-3553-2891



第7回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入選作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来に関する考えや思いを発表することを目的に、第7回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施しました。全国より応募総数506編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと、厳正な審査を行いました。以下に入選作品を掲載いたします。

最優秀賞

「こころの介護」

おおや ゆい
大家 結衣さん
(東京都立赤羽北桜高等学校 2年)
※学年は応募当時のものです。

私は今年の夏、特別養護老人施設に実習に行った。その時、将来介護福祉士として働く上で多くの事を学ぶ事ができた。

私が実習を行った施設は、ユニット型という一つのユニットが十二床で構成されている家庭的な雰囲気のある施設だった。施設に入所している利用者の方は、車いすで生活されている方が多く、認知症のある方がほとんどだった。「認知症」について学校で学習していたものの、実際に利用者の方を目の前にして、認知症の現実を知った。他の方の飲み物を自分のものと思い飲んでしまう方や、物を盗まれたと思い怒りだしてしまう方など、いろいろな方がいた。しかし、一人として同じ人がいないように、同じ認知症の方でも感情や考え方は一人ひとり違っていた。コミュニケーションを図ってみると、「はじめまして」「私の孫にそっくりね」と言い、私の方を見てニコニコと楽しそうに話をしてくださった。認知症があったとしても、特別な事はなく、その方の個性なのだという事に気付いた。たとえ忘れてしまっても、その時その時が楽しい瞬間になる事が、利用者の方の「生きる意欲」に変わると感じた。また、その瞬間を素敵な時間にしていける支援を行う事が必要だと感じた。

実習を重ねていく中で入浴介助を体験した。初めて利用者の方を目の前にして行った事もあり、自分の思うような支援を行えなかった。着脱の際も一つひとつの事に時間がかかってしまい、利用者の方を待たせ

てしまった。そんな私に利用者の方は「ありがとう」と言ってくださった。私は分からなかった。ありがとうと言ってもらえる支援を行えなかったのにとずっと考えていた。その時、職員の方が私に「きっと利用者の方に一生懸命に頑張る気持ちが伝わったんだね、その気持ちがありがとうに変わったんだね」と言った。その時初めて、介護は知識や技術も必要だけれど、相手を思う気持ちも同じくらい大切な事に気付いた。と同時に、職員の方が教えてくださった「やりがい」というものを実感した。

私は今回の実習で、介護を行う事への考え方が変わった。介護は特別なものではない事、今までの生活の延長であるという事を利用者の方から教わった。また、実習に対して緊張していた私に、優しい言葉とニコニコとした笑顔で接してくださった。私は気付かないうちに利用者の方から「こころの介護」をしていた事に気付いた。こころの介護は、介護をする側だけではない事を実習を通して実感した。介護にはいろいろな形があり、その形に正解はないが、「誰かを支えたい」「人の幸せのために何かをしたい」という気持ちは同じという事を改めて感じた。

これからの高齢化社会で高齢者の方と関わる機会が多くなる。だからこそ、今回の実習で学んだ事を自分の力へと変え、心をつなぐ「こころの介護」を伝えていける人に成長していきたい。

受賞者コメント

この賞を受賞できた事を自分の自信に繋げ、思いやりの心を大切に、立派な介護福祉士を目指したいと思います。



審査委員長のコメント

非常に謙虚な視点で情景が良く描写されており、優れた文章だと感じます。また、語られている内容も妥当性が高く、立派な作品です。

「介護福祉経営士」資格認定試験が 自宅や職場でも受験できるようになりました!

リモート受験(在宅受験)とは

自宅や職場のPCで受験することができる新しい受験方式です。

リモート受験(在宅受験)の流れ



【試験予約期間・実施日程】

いつでもお申込みできます。お支払い完了後60日の間に受験いただけます。

※お支払い完了後の期間変更、期間延長、キャンセルはできません。

【必要となる動作環境など】

詳細は、試験システム運営会社の以下のHPをご確認ください。

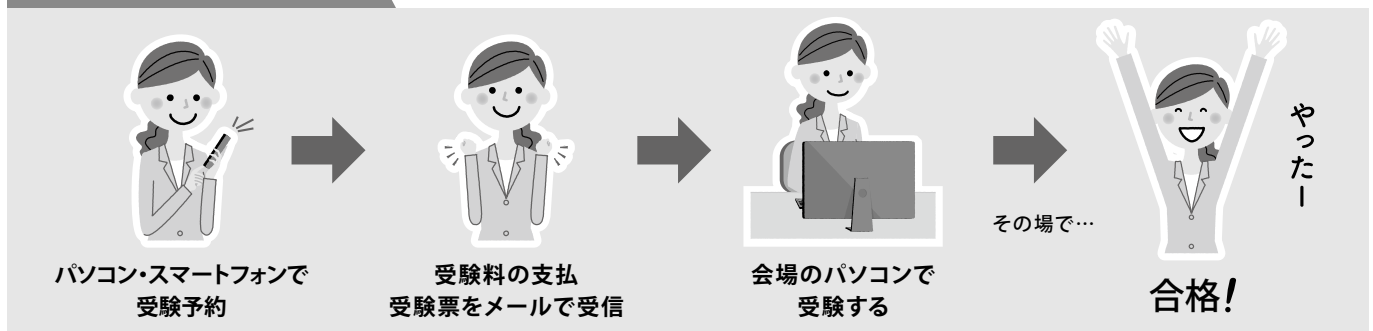
<https://j-testing.jp/Reserve/Certification/Detail/1079>

従来どおりの会場受験(CBT方式)も引き続き実施しています!

会場受験(CBT方式)とは

インターネットで最寄りの受験会場を予約し、会場のPCで受験する受験方式です。

会場受験(CBT)の流れ



【試験予約期間・実施日程】

受験日は、3カ月先まで設定可能です。年末年始を除く毎日実施しています。

※会場により受験可能日・時間帯は異なります。 ※受験料支払い後のキャンセル・ならびに返金は、一切できませんのでご了承下さい。

■試験のお申し込み・お問い合わせ・資料請求はウェブで

<http://www.nkfk.jp/>

または

介護福祉経営士

検索



一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会



ぜひご応募ください!

第8回

「介護福祉の未来」作文コンクール



一人ひとりの想いが、
介護福祉の新たな未来を創ります。
これからの社会を担う
みなさんの声を届けてください。

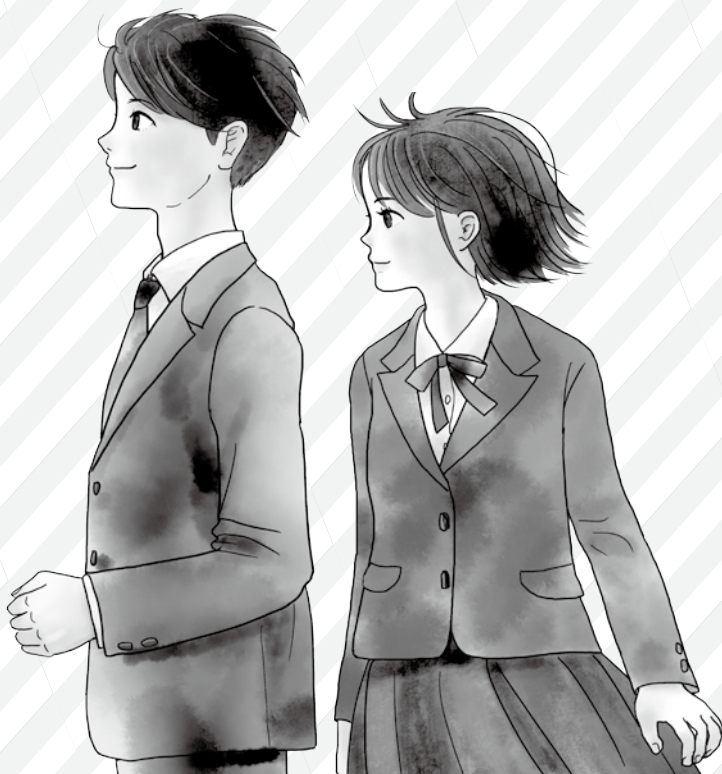
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に、第8回「介護福祉の未来」作文コンクールを実施する。

昨年は、506編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと厳正な審査が行われた。受賞者にはそれぞれ賞状が贈呈された。

入選作品は同協会ホームページで発表される。

ホームページにて応募方法や注意事項をよくご確認のうえ、ご応募ください。

私たちだから伝えられることがある——



©Ninrin - stock.adobe.com

趣 旨	将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。
募集期間	2023年6月1日(木)～9月11日(月) ※郵送の場合は必着
対 象	中学生、高校生の方
テ ー マ	以下のテーマ（課題）の中から好きなものを一つ選んで、あなたが感じること、考えることを自由に書いてください。 ●介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと ●自分の老後を想像して考えたこと ●これからの介護や福祉に関する私の意見

詳しい募集内容はホームページにてご案内します

<http://www.nkfk.jp/sakubun2023/>



日本医療企画

“イチ”からわかる介護経営オンライン塾

介護経営に関する正しい知識を全5回にわたって学ぶ。

- 第1回 ※アーカイブ受講可
介護経営を取り巻く環境を学ぶ
- 第2回 ※アーカイブ受講可
介護事業の経営分析手法を学ぶ
- 第3回 ※アーカイブ受講可
介護事業の経営戦略策定を学ぶ
- 第4回 ※アーカイブ受講可
介護事業の収益増加・費用削減と実行手法を学ぶ
- 第5回 2023年9月8日(金)
高齢者向け住宅の未来介護経営を学ぶ

- 時間:16:00~18:00 ※ライブ配信だけでなく後日アーカイブ受講も可能
- 講師:古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ/介護福祉経営士2級)
熊田圭佑氏(有限責任監査法人トーマツ/介護福祉経営士2級)
- 開催方法:オンライン
- 受講料:各回2,000円 ※税込

お申し込みはこちら▼

https://www.jmp.co.jp/seminar/kansai/onlinecp_juku_2023/

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL:06-7660-1761



日本ヘルスケアダイバーシティ学会

第7回日本ヘルスケアダイバーシティ学会

外国人材が拓く未来のヘルスケア〜共に学び共に成長する社会の実現〜

- 大会長講演 原祐一氏(社会医療法人原土井病院副理事長)
- 基調講演 アジア諸国の現状と日本のヘルスケア分野に必要なこと(仮)
小川全夫氏(九州大学・山口大学名誉教授)
- 講演 人口減少先進地域での外国人材の活躍(仮)
横倉義典氏(社会医療法人弘恵会 ヨコクラ病院院長)
- シンポジウム 外国人材との協働による人材育成と組織づくり
座長:原祐一氏
シンポジスト:
阿武幸美氏(青藍会グループ副代表)
神崎恵子氏(米国在住ナースプラクティショナー)
吳予博氏(社会医療法人原土井病院 経営企画室)
リン リン カイン ウー氏(株式会社ホームケアサービス)

- 時間:2023年9月16日(土)10:00~16:00
- 開催方法:会場またはオンライン
- 会場:アクロス福岡大会議室(福岡県福岡市中央区天神1-1-1)
- 参加料:・事前申し込み 会員 4,000円/一般 5,000円
・当日参加 会員 4,000円/一般 6,000円
※会場・オンラインとも ※いずれも税込
介護福祉経営士は会員価格でご参加いただけます

お申し込みはこちら▼

<https://japanhealthcarediversity7th.peatix.com/>

お問い合わせ 日本ヘルスケアダイバーシティ学会事務局
TEL:097-522-3533
株式会社日本医療企画 九州支社
TEL:092-418-2828



日本医療企画

2024年介護保険法・障がい者総合支援法改正をふまえた 介護・福祉事業経営戦略セミナー

講演 第1部

介護保険法改正の行方を徹底解説
大敷直史氏(日本クレアス税理士法人 介護経営コンサルタント)

講演 第2部

障がい者グループホームの開設
石川敦士氏(日本クレアス税理士法人 障がい福祉経営コンサルタント)

事例紹介

高齢者施設・福祉施設の建築実例紹介〜長期安定経営の実例をご紹介〜
パナソニック ホームズ株式会社

- 日時:2023年9月15日(金)15:00~17:00
- 開催方法:Zoomにより配信
- 参加費:無料
- 定員:300名
- 対象:医療機関・介護事業所・福祉事務所(開設予定者・土地活用を含む)

お申し込みはこちら▼

<https://www.jmp.co.jp/seminar/kansai/panasonic20230915/>

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 福祉住宅セミナー
TEL:06-7660-1761



日本医療経営実践協会

第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会 医療経営士が創造する病医院の未来像 進化する医療経営とその成長戦略

プログラム(一部):

- 特別講演 設立50周年を迎えて 徳洲会が目指す地平
東上震一氏(医療法人徳洲会理事長/
一般社団法人徳洲会理事長)
- 基調講演 私が創造(想像)する病医院の未来像
清水鴻一郎氏(大会運営委員長/日本医療経営実践協会関西支部
支部長/一般社団法人京都都立病院協会会長/元衆議院議員)

- 日時:2023年10月8日(日)9:30~17:25
- 会場:ブリーゼプラザ・小ホール(大阪府大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー7F)
- 参加料:会員 5,000円、一般 7,000円 ※税込

お申し込みはこちら▼

<https://conference-jmmpa.jp/>

お問い合わせ 大会運営事務局
(一般社団法人日本医療経営実践協会)
TEL:03-3553-2906



介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、「介護福祉経営士」資格や認定試験に関するWEB上での説明会を行っています。これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法などさまざまな情報を距離・場所の制約なく入手していただける機会となりますので、ぜひご活用ください。

お申し込みは当協会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/demae.html>)より承っております。

